

コミュニティ・スクール（地域とともにある学

CS だより

富士第一小学校
令和5年10月30日
NO. 2
発行：CS事務局

富士第一小学校はコミュニティ・スクールとして、「かじま縁」を核とした「地域とともにある学校づくり」を進めています。各学年とも、地域の方を講師にお招きした、体験的な学習の機会を増やしたりしています。今回は、令和5年度5月から9月までの各学年の取組を紹介します。

1年生 生活「さつまいもをうえよう」と6年生 総合「エキキタ未来学習」

学校の近くの畑で、6年生と一緒にさつまいもを育てました。畑を貸してくださったのは地域の方です。学校運営協議会委員の金指さんが、学校から通いやすい場所にある畑を探して地主さんとの懸け橋になってくださいました。6月に植えた（挿した）さつまいもは、10月5日に無事収穫できました。畑への行き帰りは、6年生が1年生の手をつなぎ、交通安全に気を付けて通いました。収穫体験では、さつまいものツルからコオロギが飛び出すと悲鳴を上げたり、大きな芋を掘り上げて歓声をあげたりと、教室ではできない体験をたくさんすることができました。温かい目で見守ってくださった地域の皆様に感謝いたします。収穫したさつまいもは、6年生が「エキキタ未来学習」で学んできたことを活かし、商品開発や学習成果の発表へとつなげていきました。10月29日（日）のエキキタテラスでは、多くの地域の方に御参加いただき、子どもたちの学習も実り多きものとなりました。



2年生 生活「あなたもわたしも えがおいっぱいのまち」

富士駅北の商店街の皆様にご協力いただき、まちの探検に出掛けました。1回目は、どんなお店があるのか探検して歩きました。2回目は、探検して気になったお店にお邪魔して、インタビューをさせていただきました。更に探検を重ね、10月には4回目の探検を行い、学習のまとめに入りました。探検には、ふれあい協力員の方々にご協力いただきました。タイトルの様に、みんなが笑顔になるまちにするために、自分たちができることを考え、取り組んでいます。学習の成果は、10月28日（土）と29日（日）、富士市交流プラザの2階に展示されました。



3年生 総合（福祉）「やさしいまち かじま」

フィランセの社会福祉協議会から2人の講師お招きして、福祉について学んでいます。5月に、「福祉とはどういうことか」を学んだ子どもたちは、7月のなかよしフェスティバルで学習の成果を活かしたゲームやクイズを考えて発表しました。講師の渡邊さんと田中さんがなかよしフェスティバルに駆けつけてくださり、学びの成果発表に耳を傾けてくださいました。次に、視覚障害者についてのお話を聞いた後、アイマスク・白杖体験を行いました。福祉について、自主ノートにまとめている子どもがあり、授業と体験、自ら課題をもち興味のある分野を探求する自主学習が子どもたちの学びを多様な方向へ向かわせ、深めています。後期は、車いす体験、高齢者疑似体験等を行い、「かじま」がそこに住む全ての人にとって「やさしいまち」になるにはどうしたらよいかを考えていきます。



4年生 総合（防災）「みんなの安全守り隊」

温暖化にともない自然災害が増えています。3年生から地域に目を向ける授業が多くなり、自分たちの住む地域のことを多面的に考えることができる学年になってきました。4年生では、環境クリーンセンターの見学や富士市の上下水道の講話も聞いており、学びの範囲は地域から富士市に、また授業の内容はまちの様子を知り、まちを好きになった（2年生）、まちのために何が出来るか考えられるようになった（3年生）を経て、4年生では防災面からまちの安全を考えています。防災の視点からのまち歩きをして学習を深めていくため、富士市防災危機管理課の職員を講師にお招きしての講話、地域防災指導員や駅北地区区長会、ふれあい協力員の皆様に御協力をいただき「地域DIG 防災まち歩き」を行っています。



5年生 社会「米づくりのさかんな地域」

地域の方に稲の苗をいただき、バケツ稲ならぬタライ・プランター稲に挑戦しました。急な計画でしたが、子どもたちのやりたいという気持ちに寄り添い、農家の方に御協力いただき、稲の苗と田んぼを作るための土を分けてもらいました。3年生と同様、授業と体験を平行することで、自ら課題をもち興味のある分野をさらに探求する自主学習が活発に行われ、子どもたちの学びを多様な方向へ向かわせています。自主ノートにまとめる子、タブレットPCを使ってまとめる子と学習のまとめ方も高学年ならではのです。また、稲の品種博士になる子、米製品のアイデアを探る子、農業に機械化の未来を考える子、お米ひと粒の尊さに気づく子など、日本の農業に希望がもてる学びの展開になっています。



土ふるい



コシヒカ



田植え



稲の管理



刈り入れ



脱穀